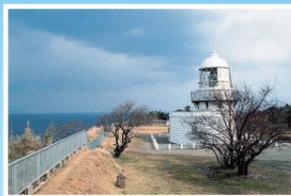


♪ おとのみち



おとのみちを車が通ると、メロディーが聞こえます。

1 祿剛崎



2 白米千枚田



3 巖門



4 千里浜なぎさドライブウェイ



事業区間

〈凡例〉
道の駅

ふるさと紀行

のと里山海道

柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業

羽咋市柳田町地内1.7km供用

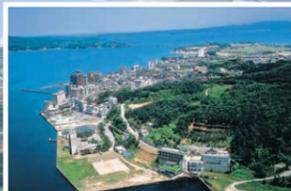
5 春蘭の里



6 ボラ待ちやぐら



7 和倉温泉



8 石動山(大宮坊)



問い合わせ先

石川県土木部道路建設課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
Tel: 076-225-1721
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/douken/>



石川県中能登土木総合事務所のと里山海道課

〒925-0003 石川県羽咋市寺家町48-2
Tel: 0767-22-6090
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/nakanotopublic/notosatoyama/>



石川のかがやく未来を支えるみちづくり

令和4年12月

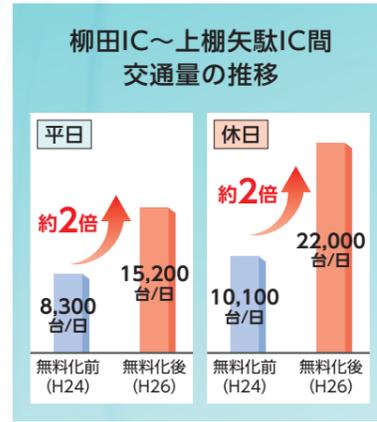
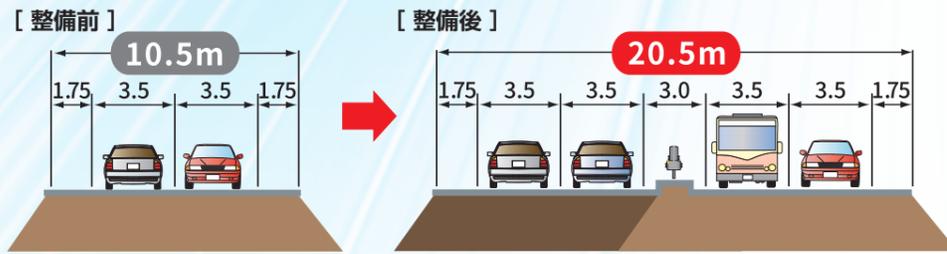
能登と金沢の時間距離を短縮し、 人・ものの広域な交流を一層盛んにします

事業概要

ふるさと紀行『のと里山海道』は、南北に細長い県土を一体的に結び、能登地域の産業・経済の大動脈であると同時に、地域住民の生活道路や災害時の緊急輸送道路としても、大変重要な役割を担っています。

平成25年3月の無料化により、交通量が大幅に伸び、能登地域への観光客の増加や新たな企業進出が見られた一方、柳田インターチェンジ以北の2車線区間では、ゴールデンウィークやお盆を中心に速度低下や渋滞が発生しています。

そこで、交通混雑を解消して人やものの交流を一層盛んにし、移住・定住の促進などによる地域の活性化を図るため、平成27年度より柳田ICから上棚矢駄IC間の4車線化事業を進めています。



路線名：ふるさと紀行『のと里山海道』
(主要地方道 金沢田鶴浜線)

区間：羽咋市柳田町～羽咋郡志賀町上棚 地内

延長：9.6km

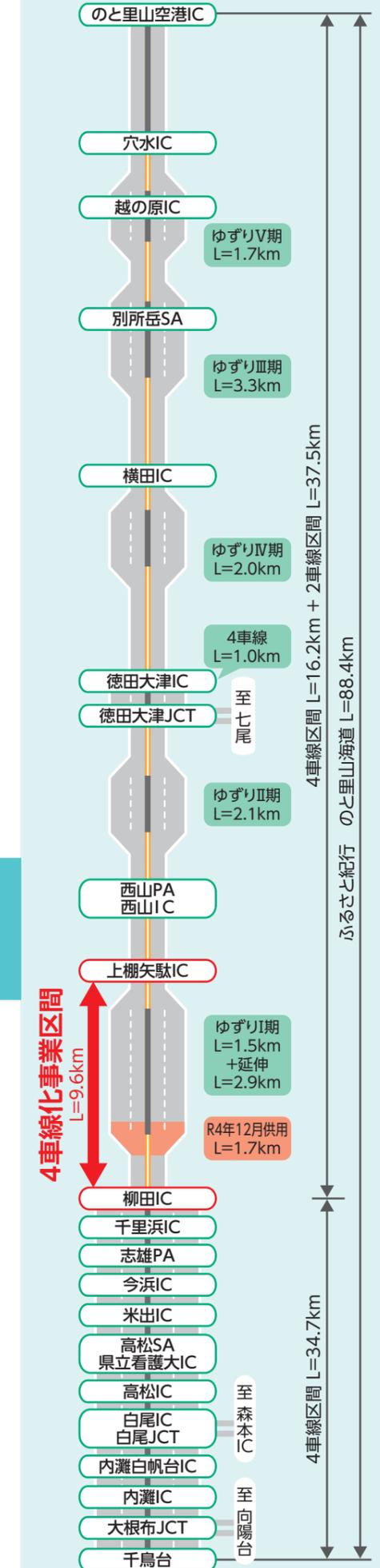
道路規格：第1種第3級

幅員：14.0(20.5)m

設計速度：80km/h



一部の航空写真：©NTT空間情報



柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業による整備効果

1 能登・金沢の時間距離の短縮

4車線化に伴い走行速度が速まり、能登地域と金沢間の移動時間の短縮が図られます。また、道路施設の点検や補修時における片側交互通行や通行止めなどの交通規制が不要となるため、定時性の向上が期待されます。

のと里山海道の4車線区間の延長と割合

4車線区間	
整備前	整備後
46.3km (52%)	54.4km (62%)

4車線区間が6割まで増加します。



交通渋滞の緩和が図られます。(柳田IC付近)

2 能登地域の活性化

4車線区間の拡大により、能登地域における通勤圏の拡大や物流の強化が図られ、移住・定住の促進や企業立地など更なる活性化が期待されます。また、能登と金沢の連携が強化され、広域交流の拡大が図られます。

能登地域を支える交通ネットワーク



3 安全・安心な交通環境の確保

4車線化に伴い対面通行が解消され、安全性が向上します。また、大規模災害時において道路が被災しても、交通を確保しながら復旧工事を行えるため、緊急車両の通行や物資の輸送が可能になります。

